

池田めぐみ議会報告

2012年4月19日発行

とりで生活者ネットワークニュース No.2

発行：とりで生活者ネットワーク
代表：黒澤 仁美
TEL：090-9366-8712
http://www.016.upp.so-net.ne.jp/toride-s-net/index.html

取手市の人口減少について

毎年200名前後減少、震災のあった平成23年は944名減少

一般質問

市の執行機関に方針や執行状況等を質問しました

取手市の人口は毎年減り続け、国勢調査の平成17年と22年では、4%減少しています。これは、取手市が魅力あるまちになっていないからだと考え、人口減少について市としてはどのように考え、また、具体的にどのような対策を行っているのか一般質問しました。

回答

対策の一つとして大規模ニュータウン「ゆめみ野」を開発中、また雇用促進対策として「ゆめみ野」に企業誘致もしている。昨年開店したティスカウトショップも産業活動支援条例を活用している。また引き続き西口再開発、放射能対策も行っていく。
※産業活動支援条例とは、設備投資支援や固定資産税を基準とした奨励金の交付等を行うもの

このように答弁されましたが、実際「ゆめみ野」に食品工場が5年以内に建設するという条件で土地を購入済ですが震災と厳しい経済状況の中今後の予定は未定だそうです。西口再開発も急がれるべきですがその進め方には疑問が残ります。また、放射能対策

放射能除染対策について

も遅れ気味なうえ、市民を本当に守る！という意識が薄いように感じられてなりません。

取手市は、ホットスポットになってしまっている地域もあり、早急に除染を進める必要があります。市として、保育園・学校等の校庭や側溝の除染もしていますが、まだまだ不十分です。そこで、具体的除染方法・開始時期・除染で発生する放射性廃棄物処理を含む完了までの除染計画について質問しました。

回答

除染対象地域として国に認めてもらうため（費用負担してもらうため）除染マップを作成している。
GPS連動放射線自動計測システム「KURAMA」の数値と市政協力が測定した値を入力して作成している。現在作成終了し、HPでも公表している。

除染を早急に実施してほしい

トリス

回答

補助金利用のための国との交渉以外に、除染計画を設計し、予算の見積もり等が決まってきたからの除染開始となる。特に除染方法で、国が認めていない、表土剥離して地中深くに埋める方法の折衷は大事。色々な手続きが必要なので、開始するのに3、4か月かかるので、早くとも初夏くらいからのスタートとなる。

建築資材等の放射線量の測定は？

最近よく見かける、道路工事や側溝の掃除はちゃんと放射線量を測定しているか気になったので、質問しました。市の発注する側溝の清掃等では放射線量を測定し、確認しているとのことでした。また、除染作業にあたる場合は放射線量の検査も行い、働く人の健康等も十分気を付けているそうです。ただ、資材に関しては測定を行っていませんが、公園の砂等は測定し確認したとのこと。またこれからも、長い年月測定、除染を継続していくことも確認しました。



まちづくり懇談会

私たちの代理人「池田めぐみ」

<議会報告>

* 4月26日（木）10時～12時
生活クラブ取手支部 共催
場所：生活クラブ・取手センター

* 4月28日（土）13時半～15時半
とりで生活者ネットワーク
場所：ゆうあいプラザ・研修室

議会報告の他、身近な問題についても話し合います。

どなたでもお気軽にご参加ください。
託児をご希望の方は、事前にご連絡ください。

とりで生活者ネットワーク 代理人3つのルール

1、議員はローテーション

原則2期8年で交代し、職業化・特権化しません

2、議員報酬は市民の活動費

市民のための政治は市民の手による選挙から。

3、選挙は手作り

選挙は、市民のカンパとボランティアで行います